

静岡市都市山麓グリーンベルトの大内モデル地区において、 地元小学生による植樹を開催しました

清水高部小学校の5年生が、総合学習の一環として、NPO法人『森と水辺を育てる会』が主催する植樹に参加し、ふるさとの自然環境を考えながら、土砂災害を防ぐ里山づくりを体験しました。

1 開催日時

平成27年12月3日（木）13:30～15:30

2 場所

静岡市都市山麓グリーンベルト区域内の清水大内モデル地区
(桃林寺（静岡市清水区大内788）の西側100mほどの杉谷津沢（すぎやつさわ）の斜面)

3 主催者

特定非営利活動法人『森と水辺を育てる会』

4 参加者

清水高部小学校の5年生2クラス約70名

5 植樹の概要

静岡トヨペットが。緑化推進運動「ふれあいグリーンキャンペーン」の一環として40本の苗木を贈呈（桜、白樺、タブノ木、スダジイ、コナラ、クヌギ、山桃 各5本）

6 静岡市都市山麓グリーンベルトの概要

土砂災害危険箇所が366箇所と集中している静岡市の賤機山から興津川までの12kmの市街地北側山麓域を都市山麓グリーンベルト整備区域とし、そのうち竹林の拡大が著しい清水大内地区をモデル地区に指定し、静岡県と特定非営利活動法人『森と水辺を育てる会』との間で協定を結び、樹林帯の整備を行うことで、土砂災害の防止、無秩序な市街化防止、都市景観の保全・創出を目指します。

7 植樹の様子

